

伝えよう感謝の気持ちをトキめきを 2009

## トキめき新潟国体ニュース

6月5日は「環境の日」（※国連でも「世界環境デー」）。このことから6月の1ヶ月間は「環境月間」とし全国で様々な取り組みが行われます。地球温暖化対策として、さまざまな場面で環境への取り組みが進むいま、国体開催でも環境対策が求められています。

『トキめき新潟国体』では、どんな環境対策が考えられるでしょうか？今回は「イベントでのごみ減量」を取り上げてみました。



## 運動会でもトッキッキは大人気

運動会シーズン真っ盛り！ トッキッキにも各地の運動会から招待状がドッと届いています。「トッキッキダンスをいっしょに踊りたいので、ぜひ、学校に来て欲しい。」というものです。5月中だけでも、県内で1万人近い子ども達が運動会でダンスを踊ってくれたようです。



大鷲小学校（新潟市南区：旧白根市）



広神西小学校（魚沼市：旧広神村）

## 「ガムシャラな風になれ・ダンスバージョン」のDVDをお分けしています

小学生にも大人気の「トッキッキダンス」（トキめき新潟国体・トキめき新潟大会イメージソング「ガムシャラな風になれ」ダンスバージョン）のレッスンDVDを協賛いただいた方にお分けしています。

協賛金額 1枚あたり1,000円以上

取扱窓口 糸魚川市、魚沼市、柏崎市、五泉市、佐渡市、三条市、新発田市、上越市、燕市、十日町市、長岡市、新潟市、南魚沼市の国体担当課（室）、及び県実行委員会事務局



## イベントごみの減量って、どんな方法があるの？

せっかくの楽しいイベントも、終わってみると大量のごみの山…。

ごみの始末に走り回るスタッフやボランティアの姿に、「なんとかならないの？」と思っている方も、たくさんいますよね。今、イベントのごみをもっと減らそう！という運動が全国的に拡がっています。イベントごみの多くは、飲食に関連したものと、チラシ類。

今回は、新潟県で行っている「イベントごみダイエット大作戦！」にエントリーされた例などを参考にしながら、国体でのごみ減量策を考えてみましょう。





## 会場周辺のクリーン活動がはじまっています

まずは、落ちているごみを拾うところから・・・ということで、会場周辺の環境整備のために「エコウォーク」を始めている市町村からご紹介します。

### 上越市では...



桜も咲き始めた4月15日、中郷区でクリーンウォークが開催され、トキめき新潟国体上越サポート運動推進協議会の『ごみをなくし隊』が参加しました。

ごみをなくし隊は、大会に向け、日頃から「ごみゼロ運動」キャンペーンを展開しており、当日は多くの市民の皆さんと一緒に、区内の観光道路を歩きながらごみ拾いを行いました。

一汗かいた後、地元の野菜をふんだんに使ったおいしい環境汁を、「リユース食器」で味わいました。



### 新潟市では...



リハーサル大会前の5月11日、きれいな街で全国のみなさんを気持ちよくお迎えしようと80名が参加し、弓道競技の会場となる新津地域学園と新津駅の間の清掃活動「秋葉区クリーンアップ健康ウォーク」が行われました。

この日はトッキッキはもちろん、地域で活動する「環境戦隊エコレンジャー」も応援に駆けつけ、参加者と一緒に活動を行いました。

いよいよ、6月7日（土）から弓道競技のリハーサル大会が開催されます。

この大会はこれから約1年に渡って県内各地の会場で行われるリハーサル大会の皮切りとなる大会ということでも、注目されています。ぜひ、みなさんも会場へお越しください。

さて、会場付近のごみを拾ってきれいになると、今度は、大会当日の会場で出るごみがどうなるのか気になりますよね。県で行っている「イベントごみダイエット大作戦！」にエントリーされた実例を右のページに紹介しましたので、これを参考に考えてみましょう。



## ごみ減量にも優先順位があります

## 「ごみ減量の3R」

### Reduce(リデュース=発生抑制) 優先順位は1番目

ごみの発生を抑制することです。

おまつりやイベントでは、使い捨て容器の使用を控えたり、むやみに配布物を配らないなど、ごみの元になるものを使わないことです。

### Reuse(リユース=再使用) 優先順位は2番目

使い終わったものを同じ用途や他の利用法で、繰り返し使うことです。

おまつりやイベントでは、繰り返し使える資材や、容器(リユースカップなど)を使うことで環境負担を減少させられます。県内には、リユース食器の貸し出しを行っている団体が増えています。

### Recycle(リサイクル=再資源化) 優先順位は3番目

使い終わったものを回収し、再び資源やエネルギーとして使えるようにすることです。

おまつりやイベントでは、ごみはステーションで分別回収し、資源になるもの(割り箸・生ごみなど)はリサイクルルートに載せることで、ごみの最終処分量がぐっと減ります。

「リサイクル」という言葉は、3つのRの中で馴染みの深い言葉ですが、優先順位は最後になります。

## リユース策

来場者に「マイ箸・マイ茶碗」を持参してもらう方法をとるイベントが増えています。

チラシなどで事前にお知らせして実施し、持参できなかった方には、リユース・リサイクルできる容器を準備して貸し出したり、容器代を負担してもらったりします。

### 「こしじ秋まつり・1万人鍋」（右写真）

文字通り1万食の鍋が振る舞われるという、越路の秋恒例のこのイベントでは、来場者に茶碗と箸の持参をお願いし、10年あまりが経過しました。

今ではすっかり、エコなイベントとして定着し、会場内は写真のような光景が当たり前に見られるようになりました。



お椀と箸  
持参して  
ます！

## リユース策

使い捨てでなく、洗って繰り返し使える容器を導入する方法です。屋外での大きなイベントで導入する例も増えています。

大きなイベントでの例としては、アルビレックス新潟のホームゲームでリユースカップが使われているのが有名ですね。2005年のシーズンから導入を開始。回収率が毎回90%を超え、成功例として全国的に有名です。

使用後、スタジアム内に出店している業者さんにカップを戻すと、100円が払い戻される方法（デポジット制度）をとっています。

### 地域のおまつりでもリユース食器（右写真）

環境系のNPO団体を中心にリユース食器を貸し出す団体が、県内でも増えていることから、食がつきものの地域のおまつり、学校での文化祭などで、リユース策が拡がっています。

リユース食器貸し出し団体は「リユース食器ネットワーク」という全国組織でつながり、お互いサポートし合っています。

<http://www.reuse-network.jp/>



## リサイクル策

ごみステーションは集中設置して分別回収。資源ごみは、それをリサイクルルートに乗せる方法です。例えば割り箸は製紙会社へ運び紙に、生ごみは堆肥に生まれ変わります。

### えちご・くびきの100キロマラソン（右写真・上）

2年に1度開かれるこのイベントでは、エイドステーションで使用する紙カップを回収し、トイレットペーパーにリサイクルするシステムを導入しています。

毎回、約5万個のカップが回収され、約1千個のトイレットペーパーに生まれ変わり、関連市庁舎で使用されるそうです。

### 城下町新発田全国雑煮合戦（右写真・下）

今年で4回目を迎え、1月のイベントとしてすっかり定着したこのイベント。今年は1万3千食の雑煮がふるまわれました。

1回目からリサイクル容器を導入しており、回収ステーションでは分別ナビゲーションをしながら、ごみを分別回収します。

※この容器を導入しているイベントも、各地で見られます。





## こんなごみ袋もありますよ

県産古々米を原料とするライスボリを素材とするごみ袋で、県産の新商品として注目されています。

上越市のアグリフューチャージュエツ株式会社が開発・製造する製品で、今年度、上越市が生ごみ袋、燃やせるごみ袋として指定したほか、野外でのイベント音楽フェスティバルでも、イベント袋（エコメッセージなどを刷り込み配布。雨具や物入れに使用した後、最後はゴミを入れて持ち帰つてもらう）として利用され、環境配慮型のごみ袋として注目を集めています。



5月に霧島（九州）で行われた野外音楽フェスティバル「EFFECT' 08」で配布されたイベント袋と、上越市の生ごみ袋指定袋、及び同市が高田観桜会で使用したごみ袋



## リハーサル大会を見に行こう！

6月7日から、いよいよリハーサル大会がはじまります。リハーサル大会は、実際に国体を行う会場で同種目の競技会を実施し、国体に向けて様々な事項の確認を行います。来年7月末までの間、各地で順次開催していきます。是非、観戦にお出かけください。

### 6・7月中のリハーサル大会

6月7～8日

弓道（新潟市新津地域学園）

6月21～22日

ラグビーフットボール

（新発田市五十公野公園・他）

アーチェリー

（燕市吉田ふれあい広場）

7月18～20日

テニス（南魚沼市大原運動公園）

7月26～27日

ソフトテニス

（新潟市庭球場・上越総合運動公園）

7月27日

柔道（新潟市豊栄総合体育館）

空手道（燕市民体育館）

リハーサル大会は、全国規模の大きな大会もたくさんあり、見応えたっぷりです。

お気軽に、観戦にお出かけください。

燕市でもアーチェリーと空手道の競技会があるよ。見に来てね～！



燕市からもトッキッキ花絵が届きました！

## トキめき国体ニュース！（Vol. 4）

発行日 平成20年6月2日

トキめき新潟国体・トキめき新潟大会実行委員会事務局

（新潟県総務管理部 国体・障害者スポーツ大会局 大会総務課）

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1

TEL:025-280-5967 FAX:025-280-5276

ホームページ：<http://www.pref.niigata.jp/soumu/kokutai/>

Eメール：[ngt140020@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt140020@pref.niigata.lg.jp)（ご意見・ご要望はこちらまでお願いします。）

（※障害者スポーツ大会「トキめき新潟大会」情報を掲載した『トキめき障スポニュース！』も別途発行しています。）

